

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	0806	曜日時間	不定期
授業科目	成人看護学援助論Ⅴ						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	2年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員							
授業目的	各成人看護学援助論で学んだ知識や看護の思考過程を活用し、手術を受ける対象の援助を学ぶ。						
授業中核	急激な変化と対応						
授業目標	1. 手術により、どのような機能が障害されるのかを理解する。 2. 手術が、成人期の対象にどのように影響するのか理解する。 3. 周手術期の援助の方法が理解できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	15	1. 科目ガイダンス 2. 膀胱カテーテル留置の目的、方法、留意点 3. 膀胱留置カテーテル挿入 学内実習 4. 手術後起こり得る機能障害を予測、手術直後の環境を考える 5. 手術後環境調整 学内実習 手術後ベッド、部屋の準備 輸液ポンプ・シリンジポンプの使い方 6. 手術後起こり得る機能障害を考える 7. 機能障害が患者の生活にどのように影響を及ぼしているのか考える 8. 対象の看護上の課題を明確にする。 9. 対象の援助計画を立案する。 10. 発表 11. 思考過程のまとめ 12. なぜ、看護師が手術を受ける患者に援助を行うのか	講義 演習 学内実習	30			
終了後課題	思考過程を提出。演習後リフレクションシート。						
評価計画方法	看護過程、演習、振り返りレポート、授業態度から総合的に評価する。						
テキスト参考図書	既習したすべてのテキスト						
実務歴有							
講義への反映							
備考							